



フォレスターうじ 会報

第279号
令和4年5月1日発行
森林ボランティア
フォレスターうじ

ホームページ : <https://forester.foresteruji.org>

設立二十五周年記念式典及び 令和四年度総会を終えて

会長 深田 和夫

日々緑が増す天ヶ瀬森林公園大屋根休憩所で、会員二十二名中二十名（内委任状提出二名）の出席の下、二十五周年記念式典と総会を開催しました。総会では全議案の承認をいただきました。

つきましては、二十五周年記念式典での挨拶を再度ご披露いたします。

当会は、林業の体験を通じて人との交流と活気ある森林づくりを目的として京都府の「交流の森づくり事業」の補助を受け、当時の宇治市総務部管財契約課が平成九年六月天ヶ瀬森林公園を活動拠点とするボランティア団体を発足、平成十三年四月に市民の自主活動組織として独立し、現在に至っています。

活動内容としては、遊歩道の補修、その周辺の枯木や倒木の撤去、雑木の除伐。宇治市のシンボル木であるイロハモミジの京都大作戦の森への植樹、裸地へのドングリ等苗木の植樹、森林公園内の環境整備や緑を増やす活動に取り組んでいます。

また、森林の大切さや自然と触れ合う楽しさを啓発する活動として、宇治市等が催すイベントにも参加し、除伐した小枝を使った木工や丸太切りの体験、緑の募金活動を実施しています。

この二十四年間、当会の活動にご指導、ご協力賜りました京都府、宇治市、各団体の皆様への感謝の意をお伝え致します。また、近年我らの貴重な戦力として学業の傍ら参加していただいている京都府立大学森林ボランティアサークル「森なかま」の皆様、夏の酷暑や冬の厳寒にも負けず参加している会員の皆様にも厚く御礼申し上げます。本日から三十周年四十周年に向けて活動を開

始しますので、皆様から引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和三年度総括

年度当初はコロナ感染症が収束し計画通り活動できると推測していたが、第五波・第六波の影響で定例活動二回特別活動三回が中止になり、残念である。

定例活動では、集中豪雨や台風の被害がほとんどなく緊急の整備作業が生じず、通常活動の枯木の除去、遊歩道の整備、京都大作戦の森の雑木除去や雑草の刈り取り、どんぐりの苗木の植樹と移植を行なった。

会員が楽しめ、市民にも参加してもらおう施策を計画。森の音楽会の復活、ミニ門松制作体験会とシイタケ植菌体験会を開催。結果はPR不足で市民の参加は低調だったが、会員からは良かったので次年度も継続したいと言われた。また、宇治市役所正門に約二mの門松を設置、我々の技能を市民にアピールできたと思う。

二十五周年記念事業の準備については、記念研究会、記念モノメント、記念樹の三分科会を立ち上げ、今年度に行ける体制が整った。

令和四年度活動計画の主旨

スローガンを「二十五周年記念事業を核とした林内・散策路の整備を推進する」とし、上半期は記念事業の完遂を主体に活動。

その後、二十周年に向け次年度以降の整備方針を検討する委員会を設置する予定。森林整備は、どこをどのようにするのかというビジョンを描きその計画に沿って実施すべきと考える。それを委員会ですべて具体化できたらと思う。

最後に、今年度もコロナ感染防止を徹底し、安全第一で活動を続けるようお願いいたします。

四月定例活動

令和四年度総会と安全講習会、他

活動日 四月十七日(日) 曇

活動時間 九時半～一五時半

活動場所 天ヶ瀬森林公園大屋根休憩所

参加者 会員十八名

来賓

京都府山城広域振興局森づくり推進課

課長 稲本氏 課長補佐 田窪氏

宇治市農林茶業課 課長 齊藤氏

宇治市環境企画課 副課長 井上氏

少し肌寒さが残ったが、気持ちのいい日となった。午前は、令和四年度総会。深田会長の挨拶、来賓の方々のご祝辞をいただく。議長は中佐が務め、三年度活動報告、決算が報告され承認。その後、コーヒープレイク。振興局田窪氏も参加、皆で色々話をした。

十一時頃総会再開。深田会長の再任が承認され、新役員の発表。林新副会長、新設の森林整備担当に中佐、初心者指導担当の名称変更が承認された。

深田新会長から四年度活動方針（前半は二十五周年記念事業、後半は三十年までの活動方針の検討等）と予算案が提案され、議論し原案通り承認された。議長降壇後、事務局から保険等注意事項の報告をし、総会は終了した。

総会終了後、さっそく二十五周年記念事業の植林場所について検討、植林箇所の方針が決定した。

午後は、田窪氏の安全講習会。初心者指導等（安全第一）の話、質問も出て有意義な講習会だった。

その後、二十五周年記念事業分科会の話し合い。結果、記念研修会は十一月六日、七日の一泊で兵庫県立国見の森公園に決定した。他、記念樹、記念モノメントも概要が決定した。

(記) 中佐 昌弘・木曾 宗統

令和四年度運営体制

令和四年度総会で、深田会員を会長に選任し、新会長が本年度の役員を左のように指名し承認された。

役員

会長 深田 和夫
副会長 小林 清三郎

林 幸広

参与 松川 正廣
新宮 邦春 (A班)

副班長 水野 民雄 (B班)
上田 匡慶 (A班)

久保田 敏弘 (B班)

事務局局長 木曾 宗統
事務局担当者 上田 匡慶 (工具)

加地 富士夫 (会計)

木曾 宗統 (会報)

林 幸広 (ホームページ)

藤原 洋子 (庶務)

監査役 栗津 國雄

各種業務担当者

天ヶ瀬活動計画担当 深田 和夫

太陽が丘実行委員長 小林 清三郎

森林整備企画担当 中佐 昌弘

安全指導担当 中佐 昌弘

産物管理担当 小林 清三郎

広報渉外担当 木曾 宗統

e-cott宇治担当 新宮 邦春

電動工具取扱責任者 上田 匡慶

初心者指導担当 栗津 國雄 (一日体験を含む)

技術スタッフ

久保田 敏弘 松川 正廣 山口 香屋子

事務スタッフ

木曾 宗統 (印刷担当) 田中 一夫 (H.P.補助)

林 幸広 (会報補助) 山口 香屋子 (会計補助)

エッセイ

森林公園の桜鑑賞をしました

水野 民雄

四月六日、志津川グラウンドから車で憩の広場へ、途中淡いピンク色の三つ葉ツツジが所々に咲いており、見とれて脱輪しないように注意して運転。憩の広場前は染井吉野等の桜が満開で、到着すると既に十人位が花見の真っ最中、弁当等を開いて楽しんでいました。

冒険の道から急な山道を登り、馬の背展望台に到着、展望台からは繁茂するソゴの枝に邪魔されながらも宇治川に沿って咲く桜を眺めることができました。

それから展望台から急な山道を野鳥観察小屋(旧)へ向かった。その途中、三月の活動で周辺雑木を除伐し整備した山桜は、地上から七、八mの高さ付近で五分咲きの状態だった。

除伐する前までは雑木が密集していて下部の幹に日光が当たらなかったため、上部にしか花芽が着かなかったと思われる。今は日光が良く当たり、来年は沢山の花芽が着いてくれると期待する。

その直ぐ近くに咲く染井吉野(野口桜)は満開で少し散り始めではあったが、花びらに何羽かの小鳥が蜜を吸いに来ていた。

その後、落葉の道からモミジの道を通り、京都大作戦の森へ向かう途中、大屋根休憩所の屋根が見える辺りで、密集して咲く満開の桜を見ることができた。また、近くで鹿の鳴き声が聞こえ、風流な花見となった。

大屋根休憩所から我々が活動拠点前までは、上から見えた桜が花びらをいっぱい着ける桜並木、活動拠点があるのに綺麗なんだと再認識をした。

自由広場の桜も満開で桜のトンネル状態、そして広場に緑の苔が生えており、そのコントラストが素晴らしかった。

今日は天ヶ瀬森林公園の桜を満悦できた。



(上)4/6 自由広場の桜 (下)4/17 総会終了後集合写真

今後の活動・行事の案内

- ・特別活動 六月五日(日) 太陽が丘 太陽が丘冒険の森の整備
- ・定例活動 六月十九日(日) 天ヶ瀬森林公園 トーテムポールの製作、他

森林ボランティア フォレストアージュ

事務局

宇治市折居台二丁目一―五

木曾 宗統 方

TEL 〇九〇―九二七〇―〇七六三



編集後記

天ヶ瀬森林公園で、森林での活動を通じてその楽しさを一緒に味わってみませんか? 新しい仲間を募集中、先ずは一日体験から参加して下さい。

(会報担当 木曾 宗統)
(写真担当 田中 一夫)